

| | | | | | | |
|-------------------|------|-----|----------------------|-------|------------|-------------|
| 12 月度個人 山 行 報 告 書 | | | 報告者 | 竹内 | 参加 メンバー | CL:竹内 塚本 |
| | | | 報告日 | 12/14 | | |
| 山 域 | 南信州 | 山行日 | 05 年 12 月 14 日 (水) ~ | | | |
| 山 名 | 大川入山 | | 年 月 日 () | | | |

| | | |
|------|--------------|--------------------|
| 山行目的 | あらかぎスキー場より入山 | コースタイム (天候: 天気図記号) |
|------|--------------|--------------------|

| | |
|---------------|-----------------|
| 配布先 | ルート図 (地図を見て正確に) |
| 集会:12 | |
| 山行: 1 | |
| 原紙: 集会 担当者 | |

| |
|----------------|
| 12/14 (水) 雪 |
| 9:55 あらかぎスキー場 |
| 10:40 1400m |
| 12:45 1780m |
| 下山 |
| 13:50 あらかぎスキー場 |

早朝、刈谷を出発して国道 153 にて治部坂方面に向かう。途中香嵐渓を過ぎたあたりから、道路わきに雪が見え始めてきた。稲武町からは雪道になる。この時期には珍しい寒波の影響で雪が降っていた。平谷、治部坂のスキー場も雪で真っ白である。3 時間ほどかかってあらかぎスキー場に到着した。駐車場に車を置いて出発する。グレンデ上部の第二リフト中ほどまで直登する。そこからグレンデ左端まで行くと小さな標識がありここから登山道にはいる。トレースも無く、膝まで積もった雪の中を進む。雪に覆われた夏道を登っていくが急坂に入るとさらに雪は深くなり思うように進まなくなってきた。1400 m 付近で休憩して地図を見る。この先は尾根道になっていて斜面も少しゆるくなってきた。降り続く雪のなかを進み 1724 m のピークに到着する。出発が遅かったのとラッセルの連続で頂上まではいけないと判断して、13:00 まで登り続けることにした。まだ時間も残りさらに進むが 1750 m 付近で予定していた時間になり引き返す事にした。下山は踏みあとが残っている中を下っていく。約 1 時間ほどで降りてきた。雪はやむことは無く車に積もっていた雪を取り、帰路にむかった。途中、治部坂の温泉に入り冷えた体を温めて休憩をした。

治部坂のスキー場は今週末から営業するとのことで、スキー場は整備をして準備の真っ最中でした。

フリースペース
山の紹介・スケッチ・エピソード・その他自由に

冷えた体で温泉に入ったら、足の指先がしびれるほど温たまり、とても幸せな気分になりました。

確認
(リーダー)

竹
05/12/25
内

リーダー所見 あらかぎスキー場からの大川入山は初めてだったので楽しみもありよかった。踏みあとの無い雪の中を進むのは大変だけれど思い出に残る山行になりました。今回は登頂でなかったので、また

竹
05/12/25
内

登りたいと思います。